



6月号

No.190

2012年6月11日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）
〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682
ホームページ》<http://www.nakatsu-s.or.jp/> E-MAIL》volunteer@nakatsu-s.or.jp

グループ活動紹介 スポーツを通じての交流！

～中津ろう・タイガー～

『中津ろう・タイガー』は、ろう者の方とスポーツを通じて、楽しさや喜びを共に味わい、基本的な知識や技術等を支援して、共にスポーツ交流している団体です。

中津聴覚障がい者の会員さんや、中津手話サークル「さつき」の会員さんも加わり、27名の会員数となっています。毎月第2・4土曜日の夜19:30~21:30の2時間程度、卓球バレーの練習をわいわいとにぎやかに行っています。卓球バレーは、障がいのある人もいっしょに楽しく体を動かせ、子どもから高齢者まで幅広い年代層が参加できるスポーツです。1チーム6人が、相手チームと卓球台を囲み、かまぼこ板のような長方形の板のラケットで、ネットの下を卓球のボールが転がって打ち合います。また、ボールの中には鈴が入っていて音が鳴ります。ルールはバレーボールに似ているようです。

5月13日（日）「平成24年度県民すこやかスポーツ祭」が中津体育センターで開催されました。県内外から5団体、9チーム、総勢56名が参加し、『中津ろう・タイガー』から3チーム、エントリーしました。試合中もお互いのプレーに対し、褒めあつたり、ミスをすると助言など残念そうに手話でコミュニケーションをとっていました。結果は、1チームが準優勝する事ができ、参加者同士、お互いたたえ合っていました。障がい者スポーツ交流は障がい者の参加をサポートするスタッフとの深い絆で成立っていると感じ、これからも障がい者スポーツの活動や発展が期待されます。



☆会よりメッセージ☆

卓球バレーの練習を毎月第2・4土曜日の夜2時間程度しています。強いチームになり、大会で勝つ事を目標にして日々の練習に励んでいます。また、仲間たちとの交流ができることも楽しみです。大会などでは他のチームの方々との交流ができ、親睦が深まります。昨年、県大会で準優勝し、全国障がい者スポーツ大会に出場しました。今年も良い、報告ができるように頑張ります。応援して下さいね。

被災地への想いが募金活動に！

～中津市ファビオラ看護学生の笑顔～

5月12日は「ナイチングールの誕生日」です。日本ではこの日を「看護の日」としており、中津ファビオラ看護学校看護科1年生37名が、中津駅の北口と南口に分かれ募金活動しました。授業の一環で、「今、自分たちができる事は何か。」を考え、それが東日本大震災の被災地支援でした。地元での震災孤児となつた子供さんに焦点をおき、親をなくした子供たちが安心して学習が続けられるようとの想いが、募金活動をするきっかけになったようです。大きなパネルには「東日本大震災こども未来基金」の内容が書かれ、募金箱も手づくりでした。初め駅には通行人が少なく、小さな声でばらばらで恥ずかしげに「中津ファビオラ看護学校です。ご協力をお願いします。」と呼びかけていましたが、時間が経つにつれ、呼びかけ方や、募金の内容の伝え方、声のトーンなど工夫して最初とは見違えるようでした。感謝の気持ちも声のトーンで十分に伝わっているようで、募金した方も恐縮しながらも笑顔で立ち去って行きました。



ファビオラ看護学校のみなさんの活動のようす

今回の募金活動を通じて、学生の皆さんそれぞれが再度、被災地への強い想いを感じられた事でしょう。今回の募金活動の募金額は、66,655円でした。後日、「東日本大震災こども未来基金」に全額送金されます。学生の皆さん、なし終えた達成感や満足感にあふれる素敵な笑顔でした。

笑顔がいっぱいのサロン、誕生! 寄り合いの場が新たに仲間入り!!

豊田校区、仲町に『ふれあいサロン“ふるたさん家”』が3月に立ちあがりました。寄り合いの場とは、地域住民の支え合いの関係をつくる場として、さまざまな形で実施、運営をしています。地域のみなさんがボランティアとして、また、地域のお世話役として運営しており、参加したい地域の住民が誰でも行って良い場、来た人を温かく受け入れる場です。

今回が第1回目の開催を迎えた『ふるたさん家』も、地域ボランティアの方や、関係者の呼びかけにより30名程の方が集いました。この日は、絵手紙を作り、各自、思い思いの材料の野菜を選んで、世界に一枚しかない素敵な絵手紙ができました。下書き、色塗りをしながら話が弾んで楽しい時間を過ごしていました。昼食には野菜カレーやコーヒー等、みんなで一緒に食べる食事の楽しさがあり、話が盛り上がっていました。なかなか席を離れる方がいなく、名残惜しいようでした。でも、帰りには綺麗なカーネーションのプレゼントがあり、次回は6月16日の約束もしっかりと出来ていました。

今後、長く運営していくには創意工夫と協力が必要になってきます。今後の『ふるたさん家』に期待します。



サロンのようす



4月22日に開催された「アースディ中津2012」代表の須賀要子さんよりご報告がありましたので掲載しました。

みんなでエコの輪を広げよう ～アースディ中津～

4/22、ダイハツ九州アリーナで環境啓発イベント「アースディ中津2012」が開催されました。「エネルギー～回帰～」をテーマとし、総勢155を超える団体が参加しました。雨天にもかかわらず、延べ入場者数23,000人以上の方々が県内外より足を運んでくださいました。入場券代わりのペットボトルのキャップは約9万5千個以上も集まり、それらはイオン九州へ寄付し、書き損じハガキ・古切手等はNPO法人シャプラニールー市民による海外協力の会へ寄付させていただきました。

また、同時開催の「東日本大震災WASURENAI3.11チャリティイベント」では、100,702円の義援金が集まり、震災孤児支援を行っているあしなが育英会に寄付いたしました。

毎年「ゴミを出さない」イベントとして、出展者の方や来場者にはゴミの持ち帰りをお願いしているため、最終的なゴミの量は45Lのゴミ袋2.5個分でした。

「ごみゼロ」を目指して来年にも繋がる環境啓発イベントとして開催したいと努力したいと思っています。

～アースディ中津 代表 須賀 要子～

地域ボランティアおすすめの一品

『よもぎ入り焼餅』

材料 4人分(1人2個)

白玉粉(68g)、上新粉(16g)、
よもぎ(27g)、あん(80g)

- 手順① よもぎは茹でたものペースト状にする
- 手順② 白玉粉に少量のお湯を入れ、箸で団子状になるまで混ぜる。上新粉・よもぎを合わせ耳たぶくらいの堅さにこね生地にする
- 手順③ あんを10gにまるめ、生地を8等分して、あんを入れ平らにする
- 手順④ フライパンに油を引き弱火で焼く(蓋をすると良い)



～一品提供グレープ～
『ボランティア永添』



合宿数】12名
活動日】第2水曜日
活動場所】鶴居コミュニティセンター
活動地域・地区場所】東永添北地区

☆会のみなさんから一言☆

山菜や匂の野菜をとり入れ季節感のあるお弁当を心がけています。山菜はメンバーで採りに行き、今回のよもぎは春に摘んだ新芽を冷凍保存し、使用しました。

へんしゅうこうき

エンディングノートはご存知ですか？もしもの時に備えての『遺言』のようなものです。自分のエンディングの時に残された恋人や家族が困らないように、自分の思いや願いなどを書き残すノートです。いざ、むきあうとなかなか書けません。まだまだこの世への思いが強いせいいか？色々と悩み多きわたくし…。そんな年頃？OR更年期ですかねえ？

～ボランティアコーディネーター：わたなべゆかり



1. *What is the relationship between the number of hours worked per week and the weekly income?*